

## 揖斐川町 脛永地区

令和3年度

脛永地区



## 【地域の概要】

- 揖斐川町：町面積の90%以上が森林。耕地面積1,720haで、水田農業を中心に、茶の生産が盛ん。担い手への集積面積968ha、集積率56.2%。
- 脛永地区：町の最南で地域全体が平坦部。農地面積75.1ha、集積面積55.6ha、集積率74.0%。S45土地改良事業。地域の主な担い手は、農事組合法人1、個人1。

## 取組開始前の状況や課題

## 【町の状況】

離農や農家の高齢化、担い手の減少  
→農業、農地管理・周辺管理への懸念

## 【脛永地区の状況】

- 遊休農地なし  
農業委員、推進委員中心に、発生防止と早期解消に尽力
- 高い集積率 83.2% (町全体56.2%)
- 担い手の不足、高齢化

※現在は農地管理が適切に行われているものの、将来への懸念あり、早めに対策を講じたい



- R2取組実績  
今後の農地環境保全の検討材料として、地域の意向把握  
R3.3～地権者に対しアンケート実施

## 取組内容

## 【R3 脛永地区の取組実績】

- 実施者：地区農業委員1名・推進委員1名  
協力者：住民（地権者、地区代表、担い手）
- アンケート「脛永用水流域農業環境保全」  
期 間：R3.3～R3.9  
回答者：地権者95名（平均67.6歳）  
設 問：耕作意思、農地環境への興味、地域での環境保全・農業支援ほか
- 結果概要  
農地・農業に関心がある人は61%おり、以下の協力が得ることが検討できた  
<住民ができること（回答）>
  - ・農業環境改善支援 36%
  - ・次世代が農業に関心を持つ活動 31%
  - ・農地、畦畔の草取、草刈 47%
  - ・できることなし 36%
 注）複数設問の結果を混合して掲載
- 結果のフィードバック  
R4.1.22 脛永地区代表7名との検討会  
R4.1.25 全農業委員、推進委員へ結果送付・共有（コロナ禍 参集断念）

## 今後の展開と方向性

## 【アンケート結果を受けての意見】

- 地区農業委員、推進委員
  - ・地権者の立場、考えは様々  
ex)農地位置関係、食育、農作業逼迫
  - ・人海戦術でやりたい農作業がある
  - ・地域で何か組織を置けると良い
  - ・担い手と地域が連携する
  - ・農地は大事だという意識のある地域に
- 地区代表等
  - ・農業や環境保全でどのような課題があるか、もう少し具体的にしてほしい

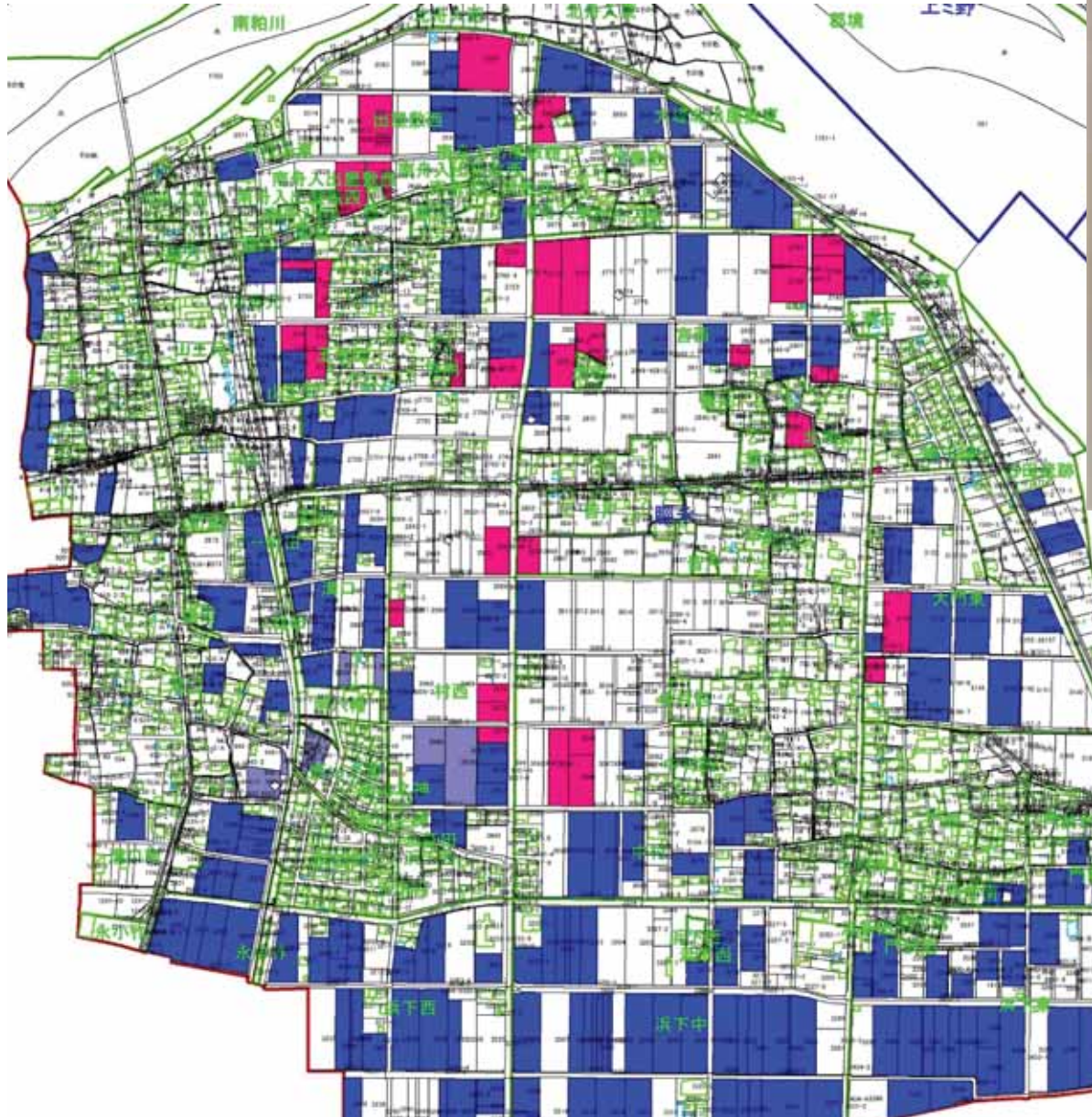


## 【今後の展開】

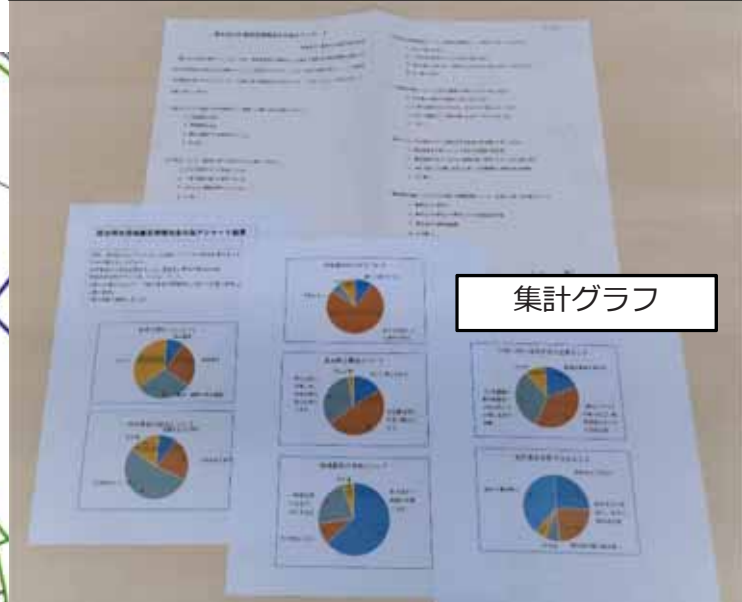
- ・地区住民代表との定期的な会合を継続
- ・行政との連携（地域活動に活用できる補助制度、情報の共有等）

## 地区住民に配布したアンケート内容

現在の脛永地区の集積状況（担い手ごとに色付け）



「脛永用水流域農業環境保全のためのアンケート」



### 【アンケート項目】（要約と主な選択肢）

- ①農業との関わり方の現況  
→専業／兼業／趣味健康のため
- ②自己所有農地の現況  
→全て自作／一部自作／耕作していない
- ③自己所有農地の将来  
→耕作継続／耕作委託／手放す
- ④農地の周辺環境について  
→大いに関心／多少関心／将来関心を持つ
- ⑤脛永の農業の将来  
→若手減少高齢化で悪化／変わらない／  
一時的に悪化するが何とかなる
- ⑥将来に向け地域住民ができること  
→農業従事者を増やす／草刈り等作業／  
子供や若者が関心を持つ活動
- ⑦地区農業支援のできることに  
→畦畔等の草刈り／耕作地での除草／  
繁忙期の農作業／できるとなし